

美術科 年間指導計画

美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力、豊かな情操を培う。

2 学年 （年間 35 時間）

美術 第 2 学年の目標
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにする。
③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション	・第 2 学年の美術について ・授業内容や評価について	・授業の様子 ・ワークシート
5	・ひと目で伝わるみんなのデザイン （表現：デザイン）	・身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。	・アイデアスケッチ
6	・その一枚が人を動かす （鑑賞）	・ひと目でわかり、場所や目的に合ったデザインについて考え、形や色彩などと調和をとりながらデザインする。	・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
7	・しぐさで語る動物たち （表現：絵や彫刻など）	・伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図や工夫を考え見方や感じ方を深める。	・クロッキー帳
8	・美術館へ行こう	・動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ・主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそうな動物の姿を追求しながら立体に表す。 ・作者の心情や表現の工夫について考えるなどして見方や感じ方を深める。 ・心で捉えた感情やイメージなどから主題を生み出す。	・作品（制作過程含む）
9	・日本文化との出会い （鑑賞） ・浮世絵っておもしろい （鑑賞）	・作品鑑賞と美術館の役割について学ぶ	・授業の様子 （発言、観察など）
10	・自由な視点で風景を見つめる （表現：絵 / 鑑賞）	・日本美術作品のよさや美しさをどのようなところか、ジャポニズムの表現の特色や美しさを考える。美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造などについて考える。	・定期考査
11		・グループごとに活動し、考えたことや感じたことをプレゼンテーションする。	
12		・見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いをもとに印象の変化を全体のイメージで捉える。	
1	・日本の技と心を受け継いで （表現：デザインや工芸 / 鑑賞）	・絵の具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して表す。	
2		・視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化をもとに主題を生み出し、表現豊かに構想を練る、	
3		・自然や季節感を取り入れた日本の伝統美術や工芸品のよさや特性について理解する。	
		・主題を基に材料や用具の特性を生かし、形や色彩を工夫して表す。	
		・四季折々の美しさを感じ、暮らしに取り入れて楽しんできた日本の美意識を味わったり、作る活動を通して、生活の中で季節感を楽しむための美術の働きについて捉える。	